指数の作成方法について

1 試算における基本方針

サービス産業動向調査(以下は「本調査」という。)では事業所ごとの売上高を毎月調査 している。売上高は物価変動の影響を受けるため、物価変動を除いた数量ベースでの動向 をみるために、毎月の指数を試算する。

(1)試算を行う指数について

試算を行う指数はラスパイレス型数量指数とし、前回の研究会から引き続き、検証のためのパーシェ型数量指数及びフィッシャー型数量指数についても作成する。

(2)試算で使用する本調査の調査結果データについて

試算で使用するのは、他調査結果データを含む7月から11月の調査結果データである。 試算は、補定を行っていない事業所データのみ(以下は「補定無データ」という。)を 使用した場合と、補定済みの事業所データを含む全事業所データ(以下は「補定有データ」という。)を使用した場合の2種類で行った。

補定無の場合には、前回までの研究会と同様、平成21年1月28日までに回収された7月から11月の調査結果データのうち、試算期間を通して『売上高』及び『事業従事者数』に回答のあったものを抜き出している。

補定有の場合には、未回答の事業所及び遅れて回収された事業所について、「資料1本調査データによる補定方法の試算について」で採用する方法で補定を行った事業所データを含めている。

(3)指数の作成方法について

サービスの価格は家計(個人)向けと企業向けとで異なる場合があることから、表章分類ごとに家計向け価格指数と企業向け価格指数を設定する。家計向け価格指数としては 2005 年基準消費者物価指数 (CPI)から、企業向け価格指数としては 2000 年基準企業向けサービス価格指数 (CSPI)から、本調査の表章分類に対応する品目又は類の価格指数を取得する。なお、CSPI は本年中に 2005 年基準値の公表が予定されていることから、公表され次第基準を変更することとする。

本調査の売上高についても家計(個人)向けと企業向けに配分する。配分には、原則として平成17年産業連関表・基本取引表から算出した比率を使用する。ただし、サービス業基本調査(平成16年)結果の表章産業分類の方が、産業連関表の産業分類よりも対応が適切と考えられる場合については、サービス業基本調査から算出した比率を使用する。

産業連関表を使用する場合には、家計(個人)向けは生産者価格による『家計消費』

の産出額を、企業向けには生産者価格による『中間需要部門』『家計外消費』『国内総資 本形成(民間)』の産出額を合算した値を使って比率を算出する。サービス業基本調査を 使用する場合には、家計(個人)向けは『個人(一般消費者)』からの収入額を、企業向 けは『他の企業・団体』と『同一企業・団体内』の収入額を合算した値を使って比率を 算出する。

ただし、価格指数がいずれか一方にしか設定できない表章分類では、家計(個人)向 けと企業向けの価格が同一であるとして取り扱う。また、『74 保健衛生(例.健康相談施 設、検疫所など)』『7592 その他の社会保険事業(例.社会福祉協議会、救護院など)』『81 学術・開発研究機関』『93 その他のサービス業(例.集会場、と畜場など)』については、 直接の売上がほとんどないと考えられる公営事業所が多数含まれているため価格指数を 「100」に固定した。

2 算出式

各指数の算出式等は次のとおりである。

G:(下位) 分類 $P_iQ_i:$ ウエイト(売上高)

I:指数 P:価格

Q :数量

i :品目

0,t:基準時又は比較時

(1) ラスパイレス型数量指数

·(下位)分類指数

$$I_{(L)}^G = \frac{\displaystyle\sum_{i \in G} P_{i0} Q_{it}}{\displaystyle\sum_{i \in G} P_{i0} Q_{i0}} = \frac{\displaystyle\sum_{i \in G} P_{it} Q_{it}}{\displaystyle\sum_{i \in G} P_{i0} Q_{i0}}$$

・上位分類指数又は総合指数

$$I_{(L)}^{G} = \frac{\sum_{i \in G} P_{i0} Q_{it}}{\sum_{i \in G} P_{i0} Q_{i0}} = \frac{\sum_{i \in G} P_{it} Q_{it} \frac{P_{i0}}{P_{it}}}{\sum_{i \in G} P_{i0} Q_{i0}} \qquad I_{(L)} = \frac{\sum_{i} P_{i0} Q_{it}}{\sum_{i} P_{i0} Q_{i0}} = \sum_{G} \left(\frac{\sum_{i \in G} P_{i0} Q_{i0}}{\sum_{G} \sum_{i \in G} P_{i0} Q_{i0}}\right) I_{(L)}^{G}$$

(2) パーシェ型数量指数

・(下位)分類指数

$$I_{(P)}^{G} = \frac{\sum_{i \in G} P_{it} Q_{it}}{\sum_{i \in G} P_{it} Q_{i0}} = \frac{\sum_{i \in G} P_{it} Q_{it}}{\sum_{i \in G} P_{i0} Q_{i0} \frac{P_{it}}{P_{i0}}}$$

・上位分類指数又は総合指数

$$I_{(P)}^{G} = \frac{\sum_{i \in G} P_{it} Q_{it}}{\sum_{i \in G} P_{it} Q_{i0}} = \frac{\sum_{i \in G} P_{it} Q_{it}}{\sum_{i \in G} P_{i0} Q_{i0} \frac{P_{it}}{P_{i0}}}$$

$$I_{(P)} = \frac{\sum_{i} P_{it} Q_{it}}{\sum_{i} P_{it} Q_{i0}} = \sum_{G} \left(\frac{\sum_{i \in G} P_{i0} Q_{i0} \frac{P_{it}}{P_{i0}}}{\sum_{G} \sum_{i \in G} P_{i0} Q_{i0} \frac{P_{it}}{P_{i0}}} \right) I_{(P)}^{G}$$

(3) フィッシャー型数量指数

・(下位)分類指数

$$I_{(F)}^G = \sqrt{I_{(L)}^G * I_{(P)}^G}$$

・上位分類指数又は総合指数

$$I_{(F)} = \sqrt{I_{(L)} * I_{(P)}}$$

(4)パーシェ・チェック

$$\frac{I_{(P)} - I_{(L)}}{I_{(I)}} \times 100$$

3 試算結果

サービス業(他に分

類されないもの)

99.08

101.54

103.07

99.02

(1)7月から本調査を開始した事業従事者数10人以上の事業所についての試算結果

・使用データ: 補定無データ

・試算期間: 平成 20 年 7 月 ~ 11 月 (基準時は 7 月)

・対象事業所: 7月から11月まで継続して回答のあった

事業従事者数 10 人以上の 7,183 事業所 (他調査結果を含む)

・配分比率: 平成 17 年産業連関表及び平成 16 年サービス業基本調査から算出

・価格指数: CSPI の定期遡及後データを使用

『382 民間放送業』『41 映像・音声・文字情報制作業』とその下位

分類及び『45 水運業』の価格指数(企業向け)の設定を見直し

大分類以上の結果は別紙1(1)のとおりである。表1は、ラスパイレス型指数とパ ーシェ・チェックの結果である。今回と前回の試算値についてパーチェ・チェックの結果 を比較すると、『H 情報通信業』以外では、乖離はおおむね縮小している。最も乖離し ているのは『I 運輸業』で変わりはないが、11月では-0.72%から-0.22%に縮小してい る。これは、CSPIの定期遡及結果の反映及び価格指数の対応の見直しを行い、表2のと おり価格指数(企業向け)の減少幅が緩やかになったためである。

また、大分類以上のラスパイレス型指数について、前回算出した結果との差をグラフ に表したものが別紙2である。『H 情報通信業』では今回の試算値の方が8月から10月 までは高く、11 月は低い結果となっている。『I 運輸業』は今回の試算値がすべての月 で低い結果となっており、10月・11月では1以上低くなっている。それ以外の大分類で はほとんど差はなかった。

L 型指数(今回指数) パーシェ・チェック(今回指数)(%) パーシェ・チェック(前回指数)(%) 産業分類 8月 9月 10月 11月 8月 9月 10月 11月 8月 9月 10月 11月 100.25 96.38 -0.00 -0.01 -0.14 -0.12 総合 96.21 102.44 0.04 -0.06 -0.04 0.04 H 情報通信業 87.41 121.28 92.29 93.40 -0.04 0.09 -0.01 0.01 0.03 0.07 0.00 0.00 I 運輸業 94.89 97.62 101.55 95.27 -0.22 -0.72 0.04 -0.02 -0.14 0.03 -0.05 -0.53 L 不動産業 0.00 -0.00 0.00 0.01 -0.00 0.00 0.01 95.13 111.11 90.29 90.50 0.01 M 飲食店,宿泊業 110.71 93.80 102.77 109.35 0.07 0.00 0.03 0.05 0.07 0.00 0.03 0.05 N 医療,福祉 93.06 97.12 101.05 92.72 -0.00 0.00 0.00 -0.01 -0.01 0.00 -0.06 -0.01 O 教育 ,学習支援業 106.48 99.36 98.46 102.47 -0.06 -0.01 -0.01 -0.01 0.03 -0.04 -0.10 -0.04

産業大分類別指数(調査期間5か月) 表 1

0.03

-0.03

-0.10

-0.04

0.04

-0.01

-0.14

-0.12

表 2 H20.7月を100とした場合の売上高と価格指数(企業向け)の変化率(%)

				H20.8月	H20.9月	H20.10月	H20.11月
売上高	I	運輸業		-4.6	-3.0	-0.3	-7.1
価格指数 (企業向け) 45 水運動 (企業向け) 46 航空道	水温光	前回	-0.42	-7.65	-26.07	-31.18	
	45	小连未	今回	0.70	-4.77	-16.46	-21.88
	16	航空運輸業	前回	4.56	-3.97	-7.75	-12.21
	40	加工建制未	今回	6.00	-3.68	-4.34	-7.24

(2) すべての事業所を調査対象とした10月以降についての試算結果

・使用データ: 補定無データ

・試算期間: 平成20年10月~11月(基準時は10月)

・対象事業所: 10月と11月に回答のあった10,816事業所

(うち事業従事者数 10 人以上 7,839 事業所)

・配分比率及び価格指数は(1)と同じ

大分類以上の結果は別紙1(2)のとおりである。表3は、ラスパイレス型指数とパーシェ・チェックの結果である。今回と前回の試算値についてパーチェ・チェックの結果を比較すると、価格指数の設定を見直した『H 情報通信業』では傾向が変わり、『I 運輸業』ではすべての月で差が0.01%縮小しており、それ以外はほぼ同様となっている。

表 3 産業大分類別指数 (事業従事者数別)

	立 *** 八 **5		L 型指数		パーシェ・き	チェック(今回	回指数)(%)	パーシェ・	チェック (前回	回指数) (%)
	産業分類	総合	10 人	10 人	総合	10 人	10 人	総合	10 人	10 人
		₩© □	未満	以上	##© I	未満	以上	in i	未満	以上
	総合	97.91	101.56	97.25	-0.01	-0.03	-0.00	-0.00	-0.02	0.00
Н	情報通信業	103.50	98.65	104.04	-0.01	-0.11	0.00	0.03	0.04	0.03
I	運輸業	88.08	100.84	86.89	-0.08	-0.15	-0.06	-0.09	-0.16	-0.07
L	不動産業	117.79	134.89	107.52	0.00	-0.00	0.00	0.00	-0.00	0.00
М	飲食店,宿泊業	104.16	100.31	105.54	-0.03	0.04	-0.05	-0.03	0.04	-0.05
N	医療,福祉	91.74	86.08	92.19	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
0	教育,学習支援業	101.89	96.77	103.28	-0.02	0.00	-0.03	-0.02	0.00	-0.03
	サービス業(他に分類	98.82	89.64	100.64	-0.01	-0.07	0.00	-0.01	-0.08	0.00
Q	Q されないもの)	90.02	09.04	100.04	-0.01	-0.07	0.00	-0.01	-0.06	0.00

(3) 10月以降のすべての調査事業所を使用した試算結果

・使用データ: 補定有データ

・試算期間: 平成20年10月~11月(基準時は10月)

· 対象事業所: 38,955 事業所

(うち事業従事者数 10 人以上 10 月: 27,393 事業所

11月:27,411事業所)

・配分比率及び価格指数は(1)(2)と同じ

大分類以上の結果は別紙1(3)のとおりである。表4は、ラスパイレス型指数とパーシェ・チェックの結果である。パーシェ・チェックの結果では、事業従事者数10人未満で乖離が大きくなっている。

(2)のパーシェ・チェック結果と比較をすると、『I 運輸業』の事業従事者数 10 人 未満で乖離が大きくなっている。

			L型指数		パーシ	/ェ・チェッ <i>′</i>	ク(%)
	産業分類	総合	10 人	10 人	総合	10 人	10 人
		₩© □	未満	以上	心口	未満	以上
	総合	99.54	105.79	98.40	-0.01	-0.06	-0.00
Н	情報通信業	102.57	107.69	102.19	0.02	-0.07	0.03
I	運輸業	94.46	100.58	93.87	-0.07	-0.45	-0.03
L	不動産業	113.09	123.64	106.52	0.00	0.01	0.00
М	飲食店,宿泊業	104.14	99.93	105.86	-0.02	0.02	-0.03
N	医療,福祉	93.51	103.15	92.44	0.00	0.00	0.00
0	教育,学習支援業	102.93	99.82	103.95	-0.01	-0.01	-0.00
Q	サービス業(他に分	99.86	102.12	99.43	-0.02	-0.07	-0.01
_	類されないもの)	55.00	102.12	30.40	0.02	0.07	0.01

表 4 産業大分類別指数 (事業従事者数別)

(4) 10 月以降のすべての調査事業所を使用した試算結果(上位類の算出時のウエイトを事業従事者数ウエイトに変更)

・使用データ: 補定有データ

・試算期間: 平成20年10月~11月(基準時は10月)

· 対象事業所: 38,955 事業所

大分類以上の結果は別紙1(4)のとおりである。表5は、ラスパイレス型指数とパーシェ・チェックの結果である。パーシェ・チェックの結果では、『I 運輸業』の事業従事者数10人未満以外には、めだった乖離はない。

(3)のパーシェ・チェック結果と比較をすると、ほとんどの区分で乖離が小さくなっている。

また、大分類以上のラスパイレス型指数について、(3)の結果との差をグラフに表したものが別紙3であり、大分類以上では差は±3の範囲となっている。しかし、表6のとおり中分類以下の産業分類では差が10以上の分類が存在している。これはこの分類の下位分類について事業従事者数ウエイト及び金額ウエイトの比率が大きく異なっているためである。

表 5 産業大分類別指数(事業従事者数別)

			L型指数		パーシ	/ェ・チェッ <i>′</i>	ク(%)
	産業分類	<i>\\</i>	10人	10 人	<i>\\</i>	10 人	10 人
		総合	未満	以上	総合	未満	以上
	総合	99.69	103.63	98.62	-0.01	-0.01	-0.01
Н	情報通信業	100.63	110.30	99.86	0.01	-0.02	0.02
I	運輸業	93.52	98.50	93.32	-0.02	-0.22	-0.01
L	不動産業	110.27	120.94	105.81	0.01	0.01	0.00
М	飲食店,宿泊業	103.45	100.02	104.86	-0.01	0.01	-0.02
N	医療,福祉	94.71	101.36	94.18	0.00	0.00	0.00
0	教育,学習支援業	102.51	100.02	103.66	-0.00	-0.01	-0.00
Q	サービス業(他に分	101.84	103.30	101.07	-0.01	-0.03	-0.01
Ĺ	類されないもの)						

表 6 指数間の差が 10 以上である産業分類とそのウエイトの内訳 (事業従事者数別)

		L 3	型指数間の	差		ウニ	Eイトの	内訳(タ	6)	
		(事業従	É事者数ウエイ	仆使用)	事	業従事者	数		売上高	
	産業分類	- (劳	を 上高ウエイトイ	吏用)	I	ウエイト	•	1	ウエイト	•
		総合	10 人	10 人	総合	10人	10人	総合	10 人	10 人
		#© []	未満	以上	NO I	未満	以上	- 未満 し		以上
	38 放送業	-7.54	-16.26	-7.25	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0
38	382 民間放送業				51.0	31.2	51.8	46.8	80.4	44.3
30	383 有線放送業				31.8	68.8	30.2	21.7	19.6	21.9
	以外の通信業				17.2	-	18.0	31.5	-	33.8
	846 遊戱業	7.40	10.10	4.84	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0
846	8464 パチンコホール				93.4	52.7	94.5	76.3	19.8	84.6
	以外の遊戯業				6.6	47.3	5.5	23.7	売上高 ウエイト 10 人 未満 100.0 80.4 19.6 -	15.4

4 公表を開始する指数

これまで研究会で試算結果を報告してきた指数は、サービス産業動向指数(仮称)とし、 少なくとも次の内容を公表することとする。

- ・ ラスパイレス型数量指数
- ・ 総合指数及び産業大分類指数についての事業従事者規模別結果
- ・ ウエイトには本調査で調査された売上高を使用

5 公表に向けた取組(案)

・ 基準年の取扱い

これまでの試算では、主に調査開始月を基準時として試算を行ってきた。しかし、 月次の売上高や価格指数の動きに季節要素があることが考えられ、特定の月を基準と することは適切ではない。そのため、他調査(CPI、CSPI、第3次産業活動指数など) と同じく、公表する系列では基準時は年平均を使用することとする。

そのため、基準時として使用する年平均は、本調査開始後1月から12月までの調査結果が初めて揃うのが平成21年であることから、平成21年平均とする。

· 公表開始時期

公表開始時期は本調査の平成21年12月確報が公表される平成22年5月以降とする。

6 今後の課題

サービス産業動向指数(仮称)の作成にあたり、公表までの課題として事業従事者数ウエイトを使った指数の検証を引き続き行い、CSPIの定期遡及に伴う指数の遡及訂正方法等を検討するとともに、中長期的な課題として季節調整や基準改定の方法等について検討する。

指数の試算結果 別紙 1

2009年5月12日

(1)7月から本調査を開始した事業従事者数10人以上の事業所についての試算結果 補定無データに関する月別結果

	(平成20年7月=100.0)							<u> 4</u>	成20年8	月	ग	成20年 9	月	平月	成20年10)月	平月	成20年11	月
表章 分類	表章分類名							ラスパイレス 型指数	パ゚ーシェ型 指数	フィッシャ- 型指数	ラスパ [°] ルス 型指数	パーシェ型 指数	フィッシャ- 型指数	ラスパイレス 型指数	パ -シェ型 指数	フィッシャ- 型指数	ラスパイレス 型指数	パーシェ型 指数	フィッシャ- 型指数
	総						口	96.21	96.25	96.23	102.44	102.44	102.4	100.25	100.18	100.21	96.38	96.34	96.4
Н	情	報 通 信					業	87.41	87.37	87.39	121.28	121.39	121.3	92.29	92.28	92.29	93.40	93.41	93.4
Ι	運						業	94.89	94.93	94.91	97.62	97.60	97.6	101.55	101.41	101.48	95.27	95.06	95.2
L	不		動		産		業	95.13	95.13	95.13	111.11	111.11	111.1	90.29	90.29	90.29	90.50	90.51	90.5
M	飲	食	店	,	宿	泊	業	110.71	110.79	110.75	93.80	93.81	93.8	102.77	102.80	102.78	109.35	109.41	109.4
Ν	医	療		,	福		祉	93.06	93.06	93.06	97.12	97.12	97.1	101.05	101.05	101.05	92.72	92.72	92.7
0	教	育 ,	学	習	支	援	業	106.48	106.41	106.45	99.36	99.35	99.4	98.46	98.45	98.46	102.47	102.47	102.5
Q	サ	_		ビ	ス		業	99.08	99.11	99.09	101.54	101.50	101.5	103.07	102.97	103.02	99.02	98.98	99.0

(2) すべての事業所を調査対象とした10月以降についての試算結果

補定無データに関する事業従事者数別結果(平成20年11月)

	(平	成20年10月=	100.0)				総合		事業従	事者数10.	人未満	事業従	事者数10.	人以上
表章 分類			表章分類名	Ž		ラスパイレス 型指数	パーシェ型 指数	フィッシャー 型指数	ラスパ [°]	パーシェ型 指数	フィッシャ- 型指数	ラスパ [°] 化ス 型指数	パ゚ーシェ型 指数	フィッシャ- 型指数
	総				合	97.91	97.90	97.91	101.56	101.54	101.6	97.25	97.24	97.25
Н	情	報	通	信	業	103.50	103.49	103.49	98.65	98.55	98.6	104.04	104.05	104.05
I	運		輸		業	88.08	88.01	88.05	100.84	100.69	100.8	86.89	86.84	86.86
L	不	動		産	業	117.79	117.79	117.79	134.89	134.89	134.9	107.52	107.53	107.53
M	飲	食 店	,	宿	泊 業	104.16	104.13	104.14	100.31	100.34	100.3	105.54	105.49	105.52
Ν	医	療	,	福	祉	91.74	91.74	91.74	86.08	86.08	86.1	92.19	92.19	92.19
0	教	育 ,	学 習	支	援業		101.86	101.87	96.77	96.78	96.8	103.28	103.25	103.27
Q	サ	_	ビ	ス	業	98.82	98.81	98.82	89.64	89.57	89.6	100.64	100.64	100.64

(3)10月以降のすべての調査事業所を使用した試算結果

補定有データに関する事業従事者数別結果(平成20年11月)

	(平成20年10月=100.0)							総合		事業従	事者数10.	人未満	事業従	事者数10.	人以上
表章 分類			表章分類名	3			ラスパ [°]	パーシェ型 指数	フィッシャ- 型指数	ラスパ [°] ルス 型指数	パーシェ型 指数	フィッシャ- 型指数	ラスパ [°] ルス 型指数	パーシェ型 指数	フィッシャー 型指数
	総				î	싉	99.54	99.53	99.54	105.79	105.72	105.8	98.40	98.40	98.40
Н	情	報	通	信	Ì	業	102.57	102.59	102.58	107.69	107.61	107.7	102.19	102.21	102.20
Ι	運		輸		Ì	業	94.46	94.39	94.43	100.58	100.13	100.4	93.87	93.84	93.85
L	不	動]	産	Ì	業	113.09	113.10	113.10	123.64	123.64	123.6	106.52	106.52	106.52
M	飲	食 店	į ,	宿	泊 氵	業	104.14	104.12	104.13	99.93	99.95	99.9	105.86	105.84	105.85
N	医	療	,	福	ì	业	93.51	93.51	93.51	103.15	103.15	103.2	92.44	92.44	92.44
0	教	育 ,	学 習	支	援	業	102.93	102.92	102.92	99.82	99.81	99.8	103.95	103.95	103.95
Q	サ	_	ビ	ス	Ì	業	99.86	99.84	99.85	102.12	102.04	102.1	99.43	99.43	99.43

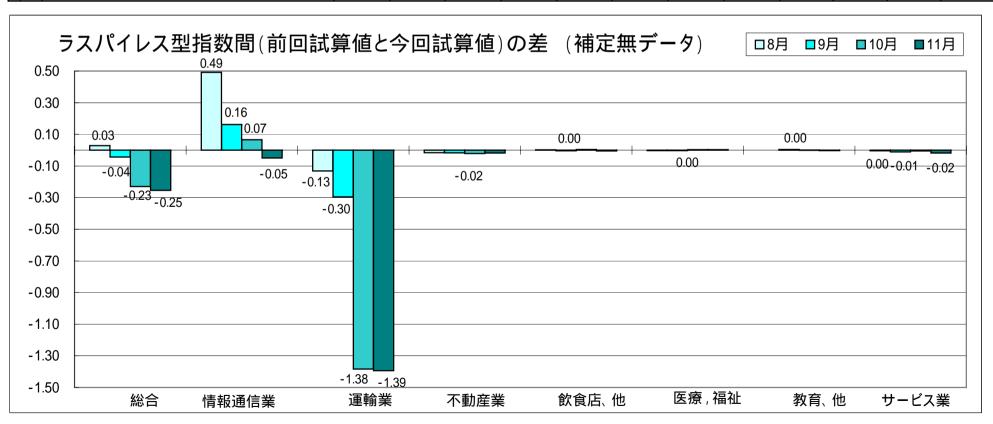
(4)10月以降のすべての調査事業所を使用した試算結果(上位類の算出時のウエイトを事業従事者数ウエイトに変更) 補定有データに関する事業従事者数別結果(平成20年11月)

	(平成20年10月=100.0)							総合		事業従	事者数10.	人未満	事業従	事者数10.	人以上
表章 分類			表章分類名	<u> </u>			ラスパイレス 型指数	パ -シェ型 指数	フィッシャ- 型指数	ラスパ [°] ルス 型指数	パーシェ型 指数	フィッシャ- 型指数	ラスパ [°] ルス 型指数	パーシェ型 指数	フィッシャ- 型指数
	総			1	ள	99.69	99.68	99.69	103.63	103.62	103.6	98.62	98.61	98.61	
Н	情	報	通	į	業	100.63	100.64	100.63	110.30	110.29	110.3	99.86	99.88	99.87	
Ι	運		輸		į	業	93.52	93.50	93.51	98.50	98.29	98.4	93.32	93.31	93.32
L	不	動		産	į	業	110.27	110.27	110.27	120.94	120.96	121.0	105.81	105.82	105.82
M	飲	食 店	,	宿	泊	業	103.45	103.44	103.45	100.02	100.03	100.0	104.86	104.84	104.85
N	医	療	,	福	1	业	94.71	94.71	94.71	101.36	101.36	101.4	94.18	94.18	94.18
0	教	育 ,	学 習	支	援	業	102.51	102.51	102.51	100.02	100.01	100.0	103.66	103.66	103.66
Q	サ	_	ビ	ス		業	101.84	101.83	101.83	103.30	103.28	103.3	101.07	101.06	101.07

指数の試算 別紙 2

前回試算したラスパイレス型指数と今回試算したラスパイレス型指数の比較(補定無データ)(平成20年8月から11月)2009年5月12日

	(平成20年7月=100.0)					L	型指数(今回試算)	L	型指数(i	前回試算)	(L型指数	(今回))	·(L型指数	枚(前回))
表章 分類			表章分類名		8月	9月	10月	11月	8月	9月	10月	11月	8月	9月	10月	11月	
	総				白	96.21	102.44	100.25	96.38	96.18	102.48	100.48	96.63	0.03	-0.04	-0.23	-0.25
Н	情	報	通	信	業	87.41	121.28	92.29	93.40	86.92	121.12	92.22	93.45	0.49	0.16	0.07	-0.05
I	運		輸		業	94.89	97.62	101.55	95.27	95.02	97.92	102.93	96.66	-0.13	-0.30	-1.38	-1.39
L	不	重	b	産	業	95.13	111.11	90.29	90.50	95.15	111.13	90.31	90.52	-0.02	-0.02	-0.02	-0.02
M	飲	食店	ī ,	宿 泊	業	110.71	93.80	102.77	109.35	110.71	93.80	102.77	109.35	0.00	0.00	0.00	0.00
Ν	医	療	,	福	祉	93.06	97.12	101.05	92.72	93.06	97.12	101.05	92.72	0.00	0.00	0.00	0.00
0	教	育 ,	学 習	支 援	業	106.48	99.36	98.46	102.47	106.48	99.36	98.46	102.47	0.00	0.00	0.00	0.00
Q	サ	_	ビ	ス	業	99.08	101.54	103.07	99.02	99.08	101.55	103.08	99.04	0.00	-0.01	-0.01	-0.02



指数の試算

別紙3

上位類算出時に異なるウエイトを使用したラスパイレス型指数間の比較(補定有データ)(平成20年11月)

2009年5	月12	\exists
--------	-----	-----------

	(平	成20年10月	=100.0)			L型指数	(人数ウコ	[イト)	L型指数	(金額ウコ	[イト)	L亞 (人数ウエィ	型指数間の 仆) - (金	差 :額ウエイト)
表章分類			表章分類名	3		総合	10人 未満	人 10 以上	総合	10人 未満	10人 以上	総合	10人 未満	10人 以上
	総				口	99.69	103.63	98.62	99.54	105.79	98.40	0.15	-2.16	0.22
Н	情	報	通	信	業	100.63	110.30	99.86	102.57	107.69	102.19	-1.94	2.61	-2.33
I	運		輸		業	93.52	98.50	93.32	94.46	100.58	93.87	-0.94	-2.08	-0.55
L	不		動	産	業	110.27	120.94	105.81	113.09	123.64	106.52	-2.82	-2.70	-0.71
M	飲	食	店 ,	宿が	白 業	103.45	100.02	104.86	104.14	99.93	105.86	-0.69	0.09	-1.00
N	医	療	,	福	祉	94.71	101.36	94.18	93.51	103.15	92.44	1.20	-1.79	1.74
0	教	育 ,	学 習	支	援 業	102.51	100.02	103.66	102.93	99.82	103.95	-0.42	0.20	-0.29
Q	サ	_	ビ	ス	業	101.84	103.30	101.07	99.86	102.12	99.43	1.98	1.18	1.64

